

第3回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会

日時 令和元年6月24日(月) 19:30～

場所 あわら市役所 101会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 協議事項

(1) 西口駅前広場の利活用の検討について

(2) その他

次回会議：7月29日(月) 19:30～ 第4回デザイン部会 (101会議室)

4 閉 会

芦原温泉駅まちづくりデザイン部会員名簿

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日
(令和元年6月1日一部変更)

部会員

(敬称略)

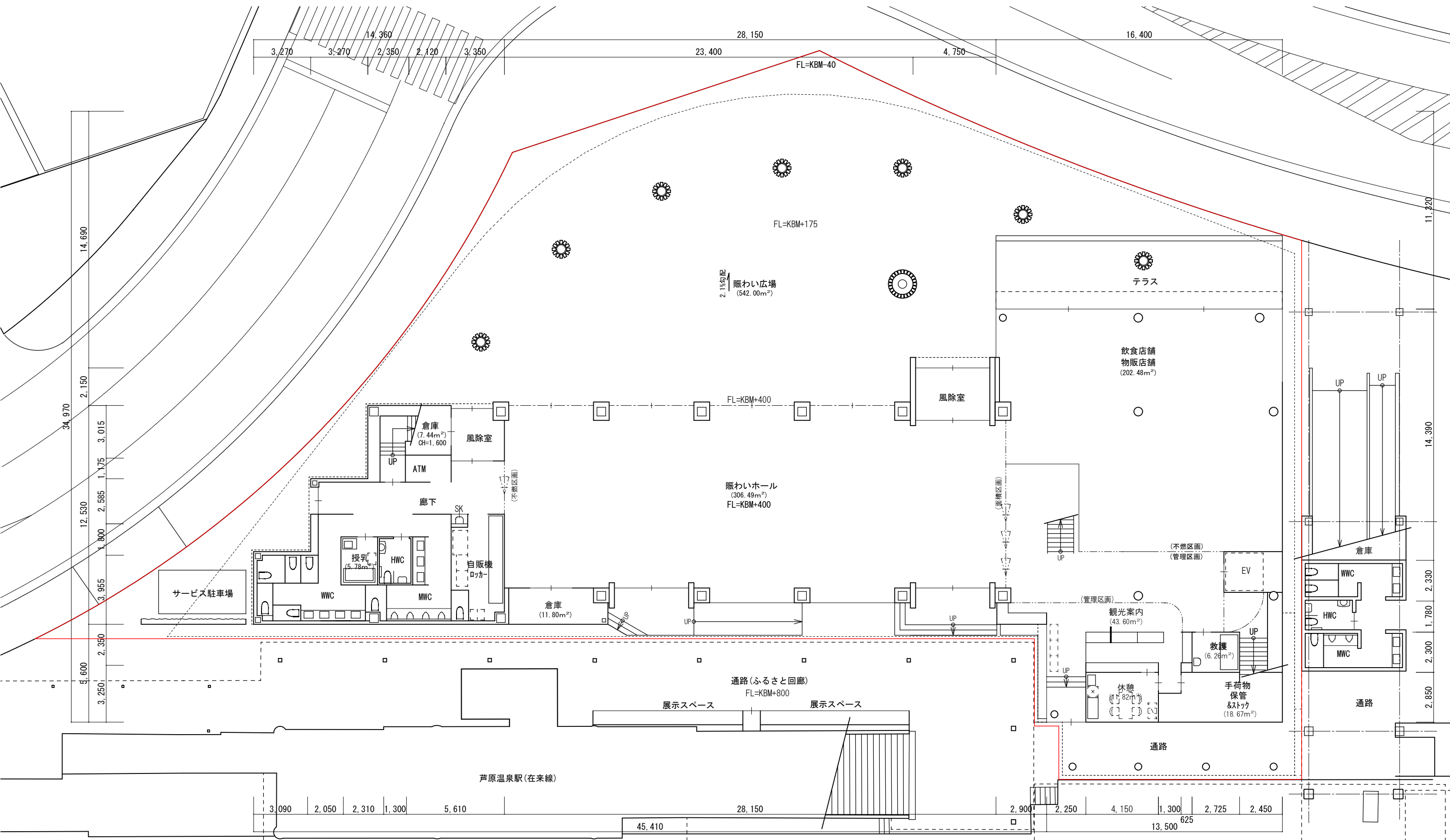
区 分	役 職	氏 名	備 考
市民		笹 原 修 之	部会長・水口区
		高 木 めぐみ	柿原区
		西 田 幸 男	新富区
		森 嗣一朗	天王区
		八 木 康 史	新みどり区
福井工業大学	教 授	川 島 洋 一	学識経験者
(一社)あわらし観光協会	事務局次長	津 田 香由紀	
あわらし文化協議会	副会長	堀 田 あけみ	
あわらし商工会青年部	代 表	松 川 秀 仁	
花咲ふくい農業協同組合	代 表	唯 内 努	
	代 表	山 口 利志実	
芦原温泉旅館協同組合	代 表	山 口 賢 司	
音泉組	代 表	青 柳 淳 一	
農家カフェ	代 表	藤 井 和 代	
あわらしコミュ	代 表	圓 道 千鶴子	
ゲンキッズステーションASOVIVA!	代 表	長 田 康 秀	

事務局

あわらし市	理 事 (兼課長)	永 井 宏 昌	新幹線まちづくり課
	課長補佐	翠 徳 夫	
	主 任	赤 神 貴 幸	
	課長補佐	中 島 之 裕	商工労働課
	課 長	堀 江 紀 幸	観光振興課
	課長補佐	細 川 正 樹	
	主 事	杉 本 憲太郎	

オブザーバー

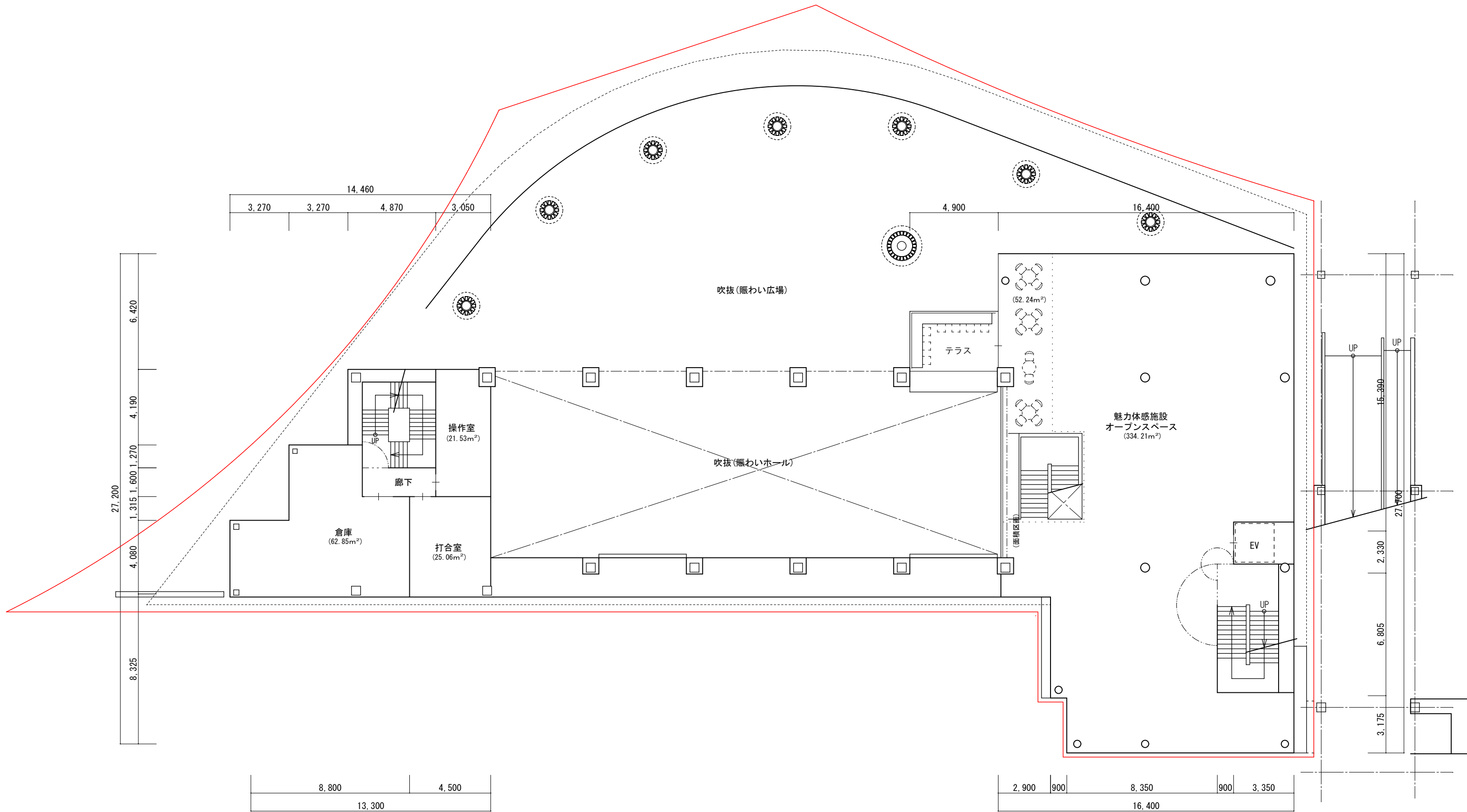
あわらし市	市 長	佐々木 康 男	
(株)木下設計 (西口駅前広場基本設計業務委託業者)			
(株)コム計画研究所 (まちづくり活動推進事業委託業者)			



特記事項 (増額内容)
 ・施工面積増加 (約333㎡ : 約101坪)
 床増加による施工費
 101坪 × 142万円/坪 = 14,342万円
 ・魅力体感施設の内装工事

敷地面積・建築面積	
	面積
敷地面積 (実面積)	1,720.09㎡
建築面積	1,475.62㎡
建ぺい率 (80%+10%)	85.78%

延床面積	
	面積
1階床面積	1,382.22㎡
2階床面積	644.09㎡
3階床面積	319.36㎡
PH階床面積	—㎡
合計	2,345.67㎡
容積率 (400%)	136.36%



CONSTRUCTION TITLE

(仮称) JR芦原温泉駅西口広場 新築計画

一級建築士事務所 (福井県) いー514号 福井市御幸3-2-22
 一級建築士 木下 賢之 No.123156 TEL 0776-21-8488 FAX 0776-21-8036

CHARGE

 一級建築士 No.*****

DRAWING TITLE

PLAN-1 2階平面図

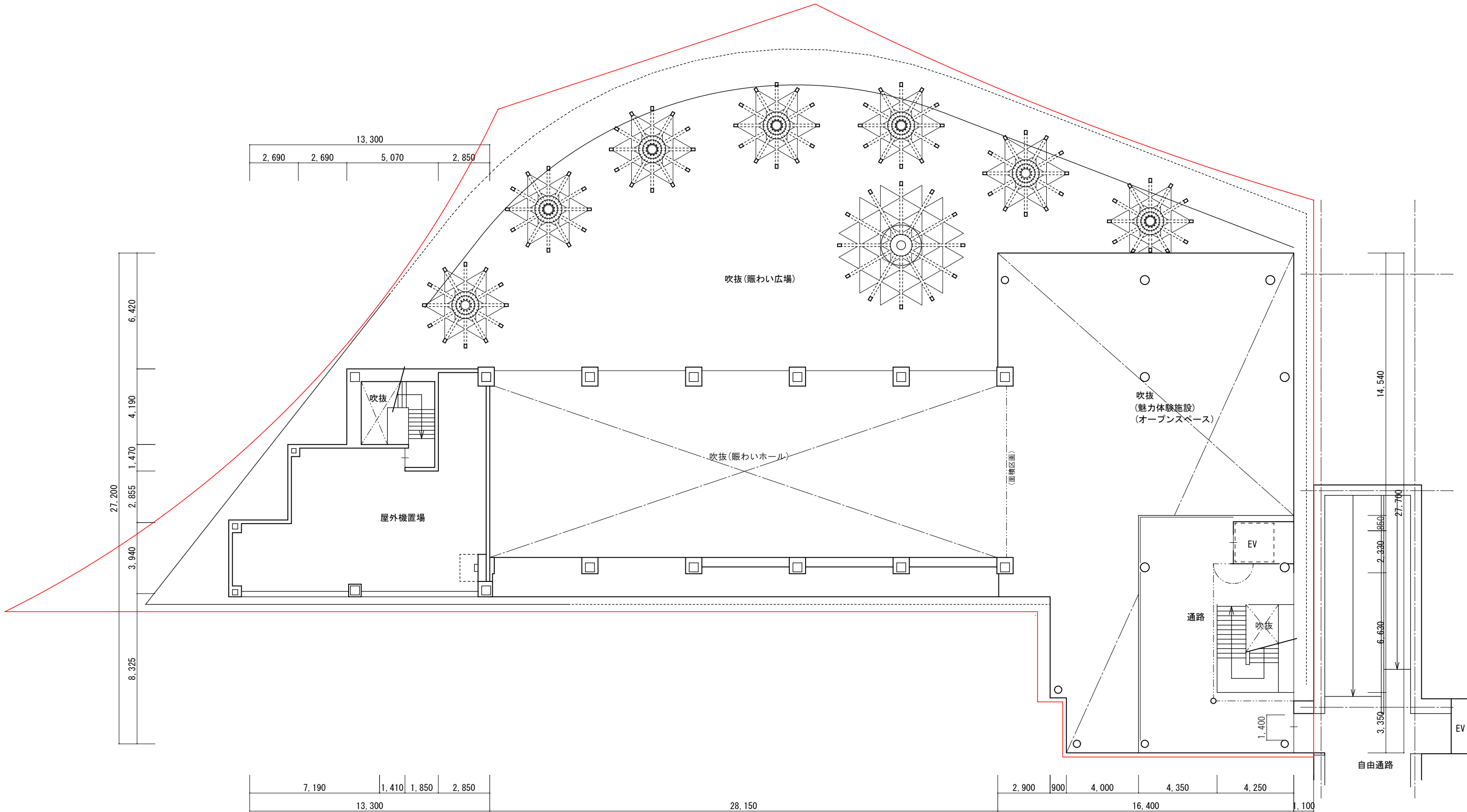
SCALE

1/200

DATE

NO.

P - 02



CONSTRUCTION TITLE

(仮称) JR 芦原温泉駅西口広場 新築計画

一級建築士事務所 (福井県) いー514号 福井市御幸3-2-22
 一級建築士 木下 賢之 No.123156 TEL 0776-21-8488 FAX 0776-21-8036

CHARGE

 一級建築士 No.*****

DRAWING TITLE

P2/PN+1 PB階平面図

SCALE

1/200

DATE

NO.

P - 03

西口駅前広場(賑わい広場)利活用検討シート

1. 貴部会員（団体）としてできそうな西口駅前広場（賑わい広場）の利活用方法		提案者
利活用方法	実現可能性	
<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験フェス（商工会青年部） ・金津祭展示会（金津祭保存会） ・各種イベントの誘致 	自分たちでできる	A
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な朝のラジオ体操のような健康イベント ・常設の移動販売車（昼はドリンクやスイーツ、夜はラーメンやおでん等） 	自分たちではできない	B
<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会としてはイベントを実施していないが、会員に利用条件規定を添えて利用案内は可能 	—	C
<ul style="list-style-type: none"> ・各団体・個人の発表会の練習の場、展示会、お茶会等 	自分たちでできる （大きな発表会・展示会等の場合は）人手があれば自分たちでできる	D
<ul style="list-style-type: none"> ・日本酒フェスト ・地元ミュージシャンによるライブイベント ・地元ダンサーによるダンスイベント ・ストリート系スポーツの大会・イベント ・物産市 	資金があれば自分たちでできる	E
<ul style="list-style-type: none"> ・そば打ち大会 ・農畜産グルメフェスタ 	自分たちでできる	F

1. 貴部会員（団体）としてできそうな西口駅前広場（賑わい広場）の利活用方法		提案者
利活用方法	実現可能性	
<ul style="list-style-type: none"> ・メロンまつり（福井市より300万程度助成、人件費が出ていない、あくまでメロンのPR） 	自分たちではできない	G
<ul style="list-style-type: none"> ・新そばまつり（費用ばかりで収益性がなく、JAの立場としてお願いしますとは言えない） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・素人だが女性部の展示会なら可能か。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・あわら温泉 女将の酒まつり（女将の酒 完成お披露目会） 	自分たちでできる	H
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消フェア・ファーマーズマーケット（地元の農産物&食育） 	人手があれば自分たちでできる	
<ul style="list-style-type: none"> ・キッズフリーマーケット（子どもも参加したりサイクル運動） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・坂井市との連携による物産展示・販売会（周辺市町を含めた広域的な物産展） ※あわら市は福井県嶺北観光の拠点、交流人口拡大 ※日本海の海の幸とフルーツなど 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A級グルメフェア（安全性の高い食材を使った伝統料理） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ちはやふるとのタイアップイベント（物販、かるた大会、袴姿であわらのまち巡り） 	自分たちではできない	
<ul style="list-style-type: none"> ・お祭り&縁日フェア（懐かしい地方の伝統・インバウンド向けにも効果） 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ビールフェスタ、ワインフェスタ 		
<ul style="list-style-type: none"> ・冬場のイルミネーション（冬季対策） 	自分たちではできない 資金があれば自分たちでできる （双方あり）	
<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミと連携した各種イベント（販促効果大） 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ライブビューイング、コンサート 	資金があれば自分たちでできる 資金と人手があれば自分たちでできる	I
--	-------------------------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> ・無料体験イベント（スラックライン、TRX、アダプテーション）月1回開催 	人手があれば自分たちでできる	J
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツリズムトレーニング体験会 		
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びイベント+子ども・スポーツ育成講習講演会 		

2. 西口駅前広場（賑わい広場）を利活用する際に必要な機能	提案者
<ul style="list-style-type: none"> 電気設備（小型発電機、コンプレッサーなど移動できるもの） 展示パネル、映える展示スペース（山車など） 	A
<ul style="list-style-type: none"> 各イベント用の什器を置く場所 スタッフ、キャストの準備・休憩用スペース 	B
<ul style="list-style-type: none"> 1時間くらい（JR待ち時間）でできるネイル、リフレ、本屋など、プチ店舗を常設できる設備（販売ショップではなく、コト・モノをするところ） 移動販売車のような感じで飲み物が買える機能 椅子、机 映画祭で使えるスクリーン 	C
<ul style="list-style-type: none"> 水回り設備（簡易な調理が可）、防音設備、控室、ロールバックチェアスタンド（電動式移動観客席） <p>※ワゴン市の後、試食会等を実施すると楽しいと思う。</p>	D
<ul style="list-style-type: none"> 給排水設備、ステージ（普段はベンチ）、音響設備、簡易テント、電源 大型ビジョン、映像設備（ビジョンに映せるもの） ガイドロープスタンド式、LED簡易照明 	E
<ul style="list-style-type: none"> 給排水設備、配電設備、大型モニター 	F
<ul style="list-style-type: none"> 給排水設備、排煙設備 コンサート会場対応の防音設備 軽トラ等の搬入ができる出入口 研修やシンポジウムが開催できる設備 	G
<ul style="list-style-type: none"> 【交流イベント】仮設ステージ（7.2m×3.6m）、椅子300脚、丸テーブル（4人掛け×12セット） 【フードコート】ブース（3.6m×3.6m 16店舗）、丸テーブル（4人掛け×12セット） 【各種ショー】仮設ステージ（7.2m×3.6m）、張り出しステージ（2.7m×12m）、椅子300脚、丸テーブル（4人掛け×12セット） 屋台orワゴン（10台程度）⇒自由に使える常設屋台 プランターベンチ⇒イベント開催時以外の憩いの場づくり 床下電源BOX（100V/15A・20A） <p>※音響用電源、照明用電源、映像設備外部接続</p> <ul style="list-style-type: none"> 床下給排水・雑排水 ガス（要接続工事） 広場の床材 <p>※トラック搬入時の強度確保 ※イベント後の清掃のしやすさを考慮（コーティング加工）</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防法、食品営業許可、道路使用許可など留意 	H
<ul style="list-style-type: none"> 飲食販売（その場で調理したものを提供）時、水道の場所、壁に囲われているかなどの適正に近づけられると使いやすいと思う。 <p>※あわら市の保健所はととても厳しいので、イベント申請時に毎回苦労した。</p>	I
<ul style="list-style-type: none"> 安全性を高めるマットや人工芝、TRX、スラックライン用の柱にラインを引っかけるフック（耐荷重500kg）、リズムトレーニング用音響設備、大きなモニター（講演会用） 	J

3. 西口駅前広場（賑わい広場）の運営方法についての具体的提案やアイデア	提案者
<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政による「まちづくり会社」を設立して運営する。（商工会、観光協会などからも人員を出向してもらおう。） 	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス客を狙うなら、夜の店の整備、昼の常設・移動販売の2部制で運営するとよい。 ・市民レベルでやりたい事、やれる事とやってほしい事は一致しないと思う。 ・市民レベルのイベントでは北の玄関口としては悪い印象を残しかねないため、イベント実施なら週末のみに絞って、イベント専門業者に任せたり、農産物マルシェなどの実施が望ましい。 	C
<ul style="list-style-type: none"> ・最初は官民主体でないと難しいと思う。（管理面（清掃を含む）など、どこまでの範囲を官とするかなど） 	D
<ul style="list-style-type: none"> ・広場を運営管理する組織は必要だと思う。 	E
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者団体のイベント（あわら市、坂井市、県外、園芸カレッジを含めた） 	G
<ul style="list-style-type: none"> ・西口駅前広場にネーミング・愛称を付ける（市民にとって身近な存在・スポンサー契約など） ※ハピテラス（福井駅）、もてなしドーム（金沢駅） ・まちづくり団体or会社の設立（イベント企画・運営、チケット等の販売） ※イベント運営や広場の管理には専従者が必要 ・イベントの告知・販促は極めて重要（地元情報誌、チラシ、WEB、SNS等） ※独自の媒体で告知する。 ・子どもの遊具広場を常設（親子連れによる日中の賑わいづくり） ※ハピテラス（福井駅） ・“和心”あふれる温泉街のイメージを醸し出す（芦原温泉旅館協同組合でブース兼茶屋を運営） ※観光客向けに旅館オリジナル菓子・ドリンク ・物販と飲食と観光案内の一本化（呼び込む仕掛け⇔イベントの相乗効果あり） ※福井市観光物産館と福福館 ・駅前商店街への誘導・回遊性アップ（江戸時代に栄えた宿場町風の商業施設） ※2核1モールが基本、民間投資の誘発 	H
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ボランティア運営では資金調達も難しく、持続困難だと思う。 ・新幹線開業までは、aキューブが低料金で借りれることをPRし、市民が利用しやすい場所だと周知することもできると思う。aキューブのランチが美味しいということもあるので、今ある施設を有効活用してほしい。 	I
<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1～2回程度、子育て世代向けの育児講演会を開き、様々な分野から講師を招いて子育てに力を入れている市というイメージを強くする。⇒「子育て あわら贅沢」例）小児歯科医「噛むことと健康」、子ども運動トレーナー「発育にそった運動」、音楽講師「リズムで育つ脳力」など ※講演会中、子どもたち向けの運動教室や絵本読み聞かせなどを行い子どもを飽きさせない。 	J